



渡航予定のある皆さまへ

海外での感染症に注意しましょう

海外には、日本にない病気がたくさんあります。渡航される方は、
渡航先の状況や滞在中の計画に応じた適切な感染予防を心がけましょう。

国・地域別の感染症の流行状況など、出発前にCHECK!



厚生労働省検疫所-FORTH-



渡航中に注意すべき感染予防のポイント

- ✓ 生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避けましょう。
- ✓ 食事は、十分に火の通った信頼できるものを食べましょう。
- ✓ 蚊・ダニに刺されないように、服装に注意し、必要があれば虫よけ剤を使うなどしましょう。
- ✓ 動物は、狂犬病や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあります。おやみに近寄ったり、触らないようにしましょう。
- ✓ 薬物やゆきずりの性交渉で感染し、後悔することのない行動をとりましょう。



帰国後は体調の変化に注意しましょう

感染症には、潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）が数日から1週間以上と長いものもあり、
渡航中又は帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。
その場合は、医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との
接触の有無、ワクチン接種歴などについて必ず伝えてください。

特に麻しんについては、海外での流行が継続しており、急激な感染拡大がみられる国・地域も存在しています。
また、国内においても、二次感染を含む感染伝播事例が発生しており、海外渡航前後を通じて注意が必要です。

定点 種別	疾患名	状況	28週(7/6～7/12)		29週(7/13～7/19)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	—	2	0.09	2	0.09
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		70	3.18	65	2.95
	急性呼吸器感染症(ARI)		972	44.18	969	44.05
小児科	RSウイルス感染症		9	0.69	6	0.46
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	1	0.08	5	0.38
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	32	2.46	14	1.08
	感染性胃腸炎	—	45	3.46	51	3.92
	水痘(みずぼうそう)	—	3	0.23	1	0.08
	手足口病	○	124	9.54	67	5.15
	伝染性紅斑(りんご病)	—	4	0.31	2	0.15
	突発性発しん		9	0.69	10	0.77
	ヘルパンギーナ	—	26	2.00	12	0.92
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	1	0.08	1	0.08
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	1	0.20	1	0.20
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		0	0.00	3	0.60
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし